

第 14 回有機触媒シンポジウム

日時: 令和3年 11 月 24 日~11 月 25 日

会場: 東北大学大学院理学研究科 青葉サイエンスホール

プログラム

11 月 24 日(水) 終日オンライン ZOOM で配信

13:00 開会の挨拶 林 雄二郎 (東北大院理)

13:10—14:25 座長: 田中 富士枝 (沖縄科技大院)

O1 13:10-13:25 シンコナルカロイド触媒を用いる 2*H*-アジリンへの高立体選択的
オキサゾロン付加反応の開発

(名工大院工) ○藤田和樹・三浦正剛・中村修一

O2 13:25-13:40 新規活性化イミンを用いた光学活性シアナミド化合物の合成

(名工大院工) ○小山田悠介・稲葉主斗・中村修一

O3 13:40-13:55 有機触媒を用いた無保護ケチミンに対する不斉 Strecker 反応の開発

(九大院薬) ○森本浩之・門田哲弥・澤真尚・近藤優太・大嶋孝志

O4 13:55-14:10 芳香族臭素化による 1,*n*-ジアリールアルキルアミンの触媒的不斉非
対称化

(京大化研¹・国際医療福祉大福岡薬²)

○上田善弘¹・二宮良¹・Harisadhan Ghosh¹・藤本匠¹・川端猛夫^{1,2}

O5 14:10-14:25 4-ピロリジノピリジン触媒による糖類の位置選択的アシル化の理論
的研究

(立教大理) ○山中正浩・森悠斗

14:35—16:05 座長: 森 啓二 (農工大院工)

O6 14:35-14:50 Organocatalytic enantioselective Mannich reactions of pyruvates as
nucleophiles

(Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University)

○Santanu Mondal・Fujie Tanaka

O7 14:50-15:05 Photoswitchable chiral phase transfer catalyst: Design and application

(阪大産研¹・茨大理工²) ○Chandu G. Krishnan¹・近藤健²

・中村顕斗¹・滝澤忍¹・笹井宏明¹

O8 15:05-15:20 キラルリン酸触媒を用いたイミンに対する可視光駆動型エナンチオ
選択的アルキルラジカル付加反応

(学習院大理) ○神山七海・毛利俊希・内倉達裕・秋山隆彦

- O9 15:20-15:35 不斉有機触媒反応を利用するストリクトシジン関連配糖体型アルカロイド類の全合成
(千葉大院薬¹・山口大院創成科学²)
○坂元寿輝弥¹・隅本倫徳²・石川勇人¹
- O10 15:35-15:50 アルキニル基を有する Z-ケチミンを用いたアミン触媒によるアルデヒドとの不斉反応の開発
(名大院工・農工大院工・京大院薬)
○本間千裕・加納太一・丸岡啓二
- O11 15:50-16:05 キラルニ官能性スルフィド触媒を用いたプロモラクトン化反応による不斉四級炭素を有するラクトンおよびエステルの高立体選択的合成
(長崎大院水・環) 平木麻奈・奥野研・西依隆一・○白川誠司
- 16:05-16:10 来年度の有機触媒シンポジウムの案内
(名大院工) 石原一彰
- 16:30-17:10 招待講演: Akkattu T.Biju (Indian Institute of Science)
Organocatalysis Using N-Heterocyclic Carbenes (NHCs)
座長: 瀧川 紘 (京大院薬)
- I1 16:30-17:10 招待講演: Akkattu T.Biju (Indian Institute of Science)
Organocatalysis Using N-Heterocyclic Carbenes (NHCs)
- 17:10-17:50 招待講演: Christof Sparr (University of Basel)
Catalytic Aldol Condensations Inspired by Aromatic Polyketide Biosynthesis
座長: 林 雄二郎 (東北大院理)
- I2 17:10-17:50 招待講演: Christof Sparr (University of Basel)
Catalytic Aldol Condensations Inspired by Aromatic Polyketide Biosynthesis
- 18:00-19:00 懇親会

11月25日(木)現地での発表 ZOOMで配信

9:15—10:15 座長：近藤 梓（東北大院理）

O12 9:15-9:30 グアニジン-ウレア触媒を用いた2-オキシインドール類のエナンチオ選択的酸化的カップリング反応の開発

（東農工大院工）○森 偉央・杉本幸太・小田木 陽・長澤和夫

O13 9:30-9:45 Asymmetric synthesis of noradamantane scaffolds using diphenylprolinol silyl ether-mediated domino reaction

（東北大院理）○Konstantinos Daskalakis・Nariyoshi Umekubo・Yujiro Hayashi

O14 9:45-10:00 シリルエノールエーテルのアリル位へテロアリール化応
（名大 WPI-ITbM・名大院工）

○藤森春佳・中島翼・大松亨介・大井貴史

O15 10:00-10:15 光酸化還元/有機 HAT 協働触媒系を用いたアクセプターレス脱水素型クロスカップリング反応の開発

（名大 WPI-ITbM・名大院工）○南廣大・大松亨介・大井貴史

10:25—11:25 座長：重野 真徳（東北大院薬）

O16 10:25-10:40 有機ニトロキシラジカル触媒を用いる第三級アミンの空気酸化的脱アルキル化反応

（東北大院薬）○笹野裕介・嶋林春樹・佐々木稜太・岩淵好治

O17 10:40-10:55 含窒素複素環式カルベンが触媒する不斉ラクトン化と化学選択的極性転換に関する理論的解析

（静岡大院総合）○鳴海哲夫・井出竜司・藤本准子・喜屋武龍二

O18 10:55-11:10 動的らせん構造を有する芳香族ウレアの不斉有機分子触媒への展開
（群馬高専工・お茶大理院・農工大院工）工藤まゆみ・山崎絵理・

小倉麻珠華・折原辰弥・小田木 陽・長澤和夫・○棚谷 綾

O19 11:10-11:25 次亜ヨウ素酸塩触媒を用いるインドールの極性転換

（名大院工）○ウヤヌク ムハメット・田中 啓貴・石原 一彰

11:25-13:00 お昼休み

13:00—13:30 座長：土井 隆行（東北大院薬）

O20 13:00-13:15 フォスファゼン塩基 *t*-Bu-P4 による芳香族メトキシ化合物の触媒的変換

（東北大院薬）○重野真徳・林和寿・根東義則

- O21 13:15-13:30 ハロゲン化アリルを用いたエナミン型有機触媒反応による不斉アルキル化反応
(旭川高専) ○吉田雅紀
- 13:40-14:20 座長：岩淵 好治 (東北大院薬)
- I3 13:40-14:20 招待講演：橋本 卓也 (千葉大院理)
基質デザインによる有機触媒の機能拡張
- 14:20-15:00 座長：寺田 眞浩 (東北大院理)
- I4 14:20-15:00 招待講演：大宮 寛久 (金沢大薬)
ラジカル制御型カルベン触媒
- 15:00-15:10 閉会の言葉